

2 学期の始業式で、生徒指導の小林先生から全校の子どもたちに話された内容です。この資料は、本校の子ども部会で作成しました。

毎日のようにテレビや新聞などでも新型コロナウイルスのことは報道されていますが、どんなことに気をつけることが大切なのか、何をしてはいけないのか、など子どもたちもそのことを知って考えることは大切なことです。

コロナ禍の今、いつも以上に思いやりについて、子どもたちが考える機会になればと思います。

■新型コロナウイルスについて正しく知ろう

今日から 2 学期が始まりました。今、世界中で新型コロナウイルスが広まっています。日本でもたくさんの人が感染している状況です。私たちの住む滋賀県でも、たくさんの感染者がでています。

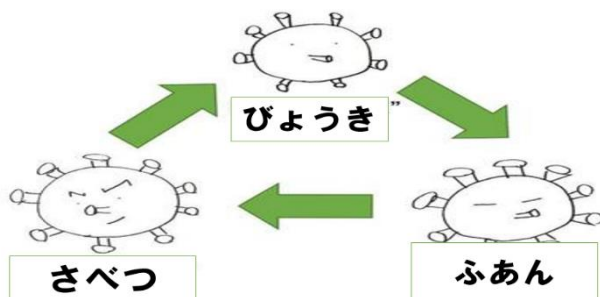


病気に対する不安や「うつりたくない」という思いは誰にでもあります。しかし、誰もが、いつ、感染するか分かりません。



そして怖いのは、

- ①ウイルスが冬に流行するインフルエンザと一緒に、人にうつってしまう病気だということ、
- ②この病気になった人やかかった人が近くにいないので、本当のことが分からなくて、すごく不安になったり、本当かどうか分からない噂などを信じてしまったりすること、
- ③コロナになりたくないから、感染してしまった人、家族、その地域の人、会社の人、医療機関の人にひどいことを言ったり、いつまでも避けて、仲間外れにしたりして差別すること、です。



特に差別については、インターネットなどでは、間違った嘘や噂が流れていたり、書き込まれていたりします。感染してしまった人、感染が広がっている地域の人、その周りで働いている人、病院関係の人たちに対して、傷つくような言葉や行動が見られます。

私たちの遠ざけようとする心も差別やいじめを生みます。自分のことに置き換えて考えてみましょう。人を傷つける言葉や行動は決してあってはいけません。

もし、自分がコロナにかかった時に、人から言われたり、されたりしたら、どんな気持ちになりますか？もし自分の周りに、そういう人がいたら、人を傷つけることを言ったりしたりする人間になりたいですか？



差別やいじめをなくす第一歩は、正しい知識をもつことです。自分のできることで、どんなことに注意をして生活をしていけばいいのか確認しましょう。



まず、しっかりと手をあらうことを習慣にしましょう。外から帰って来た時だけでなく、登校した時や授業の終わった後、給食、掃除、休み時間の前と後、トイレの後など、しっかりと手を洗いましょう。



咳をする時のせきエチケットを守りましょう。マスクをする時は正しくつけましょう。

1 時間に 1 回は換気をしましょう。教室の窓を少

し開けておきましょう。そして授業が終わったら、大きく窓を開けて換気をしましょう。



ソーシャルディスタンス（思いやりの距離）を心がけましょう。



毎日の健康観察をしっかりとしましょう。自分の体調を知ることは、病気の予防と対策につながります



まいにち けんこうかんさつ
毎日の健康観察を
わすれない



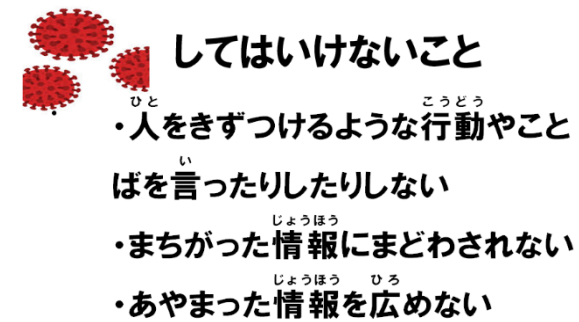
しっかり食べて、たっぷり寝ることを心がけましょう。病気に負けない抵抗力をつけるために、しっかり食事をして、しっかり早寝を心が、け強い体を作りましょう。



そして、してはいけないことを守りましょう。人を傷つけるような行動や言葉、言ったりしたりしない。人を傷つけるようなことを、他の人が言っている、しているからといって、自分も同じようなことをしない。

間違った情報に惑わされない。悪い情報を聞くと、すぐにコロナウイルスに結びつけて考えてしまうので、悪い情報ばかりに気を取られない。誤った情報

を広めない。



いつもの生活（規則正しい）をすることや楽しい時間、親しい友達や家族との時間を大切にすること。今できることを見つけてほしいと思います。



大事な人が感染する可能性もあります。誰もが同じ状況です。あなたの周りで不安な気持ちを抱えている人を見かけたら、優しく声をかけるなど、みんなと一緒に支えてあげてください。もし、心が傷ついたときは、一人で悩まずに、すぐ家族や友達、学校の先生など信頼できる人に相談をしましょう。



今も病気とたたかっている人や周りで働くたくさんの人たちがいます。その人たちを応援するためにも、自分たちができることをしっかりと守って生活しましょう。

人にとって本当に大切なのは、思いやりを持つことです。だれもが自分も人も大切に、誰もが安心して過ごせる南比都佐学校をつくりましょう。

